



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)吉澤 正信
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)齊藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	220,289	△9.3	3,722	△73.2	3,870	△73.3	951	△89.2
2019年3月期第3四半期	242,925	0.8	13,892	△21.6	14,477	△23.6	8,839	△22.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期△1,688百万円 (-%) 2019年3月期第3四半期 8,647百万円 (△49.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	20.70	20.69
2019年3月期第3四半期	184.60	184.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	270,069	152,966	51.6
2019年3月期	251,185	161,511	59.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 139,458百万円 2019年3月期 150,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2020年3月期	—	27.50	—		
2020年3月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	299,000	△8.8	6,300	△68.7	6,600	△68.6	4,000	△68.9	87.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1 社 (社名) ユニプレス武漢会社、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期3Q	47,991,873株	2019年3月期	47,944,973株
2020年3月期3Q	3,020,394株	2019年3月期	33,080株
2020年3月期3Q	45,993,165株	2019年3月期3Q	47,884,837株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては得意先の減産及び為替影響等により2,202億円（前年同期比226億円減、9.3%減）となり、営業利益は37億円（同101億円減、73.2%減）、経常利益は為替差損の増加等により38億円（同106億円減、73.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては第1四半期連結会計期間で発生した段階取得に係る差益があったものの、移転価格税制に関するメキシコ子会社での税金費用の減額に伴う非支配株主に帰属する四半期純利益の増加等により9億円（同78億円減、89.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

得意先の減産影響等により、売上高は664億円（前年同期比76億円減、10.4%減）となり、セグメント損失（営業損失）は12億円（前年同期は62億円の利益）となりました。

② 米州

得意先の減産影響及び為替影響等により売上高は673億円（前年同期比56億円減、7.8%減）となり、セグメント利益は7億円（同8億円減、53.2%減）となりました。

③ 欧州

得意先の減産影響及び為替影響等により売上高は246億円（同32億円減、11.5%減）となり、セグメント損失は8億円（前年同期は5億円の利益）となりました。

④ アジア

為替影響等により売上高は618億円（前年同期比60億円減、8.9%減）となり、セグメント利益は54億円（同4億円減、8.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が121億円減少したものの、たな卸資産が121億円、有形固定資産が151億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ188億円増の2,700億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が233億円、未払法人税等が53億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ274億円増の1,171億円となりました。

純資産につきましては、非支配株主持分が25億円増加した一方、為替換算調整勘定が48億円減少したこと、また自己株式を50億円取得したこと等により、前連結会計年度末に比べ85億円減の1,529億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ8.3ポイントマイナスの51.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月5日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,605	19,439
受取手形及び売掛金	46,092	38,716
たな卸資産	26,976	39,134
その他	8,373	15,856
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	113,047	113,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,668	29,932
機械装置及び運搬具（純額）	53,694	58,523
土地	7,211	7,434
建設仮勘定	20,021	26,292
その他（純額）	12,245	14,848
有形固定資産合計	121,842	137,031
無形固定資産		
投資その他の資産	2,821	4,233
投資有価証券	6,880	7,163
その他	6,603	8,502
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	13,473	15,657
固定資産合計	138,137	156,921
資産合計	251,185	270,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,673	29,100
電子記録債務	3,803	5,779
短期借入金	12,339	35,370
未払法人税等	1,793	7,110
賞与引当金	3,226	1,803
その他の引当金	95	82
その他	21,790	23,375
流動負債合計	74,723	102,622
固定負債		
長期借入金	810	1,108
その他の引当金	223	152
退職給付に係る負債	7,406	6,768
その他	6,509	6,450
固定負債合計	14,950	14,480
負債合計	89,673	117,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,136	10,168
資本剰余金	13,465	13,498
利益剰余金	141,654	139,986
自己株式	△22	△5,023
株主資本合計	165,234	158,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△346	△500
為替換算調整勘定	△8,323	△13,206
退職給付に係る調整累計額	△6,084	△5,466
その他の包括利益累計額合計	△14,754	△19,172
新株予約権	25	—
非支配株主持分	11,006	13,507
純資産合計	161,511	152,966
負債純資産合計	251,185	270,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	242,925	220,289
売上原価	209,430	196,637
売上総利益	33,494	23,651
販売費及び一般管理費	19,602	19,928
営業利益	13,892	3,722
営業外収益		
受取利息	842	612
受取配当金	67	65
持分法による投資利益	—	105
受取賃貸料	263	280
その他	317	265
営業外収益合計	1,490	1,328
営業外費用		
支払利息	414	434
貸与資産減価償却費	163	218
為替差損	61	371
持分法による投資損失	161	—
その他	104	157
営業外費用合計	905	1,181
経常利益	14,477	3,870
特別利益		
固定資産売却益	37	59
新株予約権戻入益	1	8
段階取得に係る差益	—	1,210
特別利益合計	39	1,278
特別損失		
固定資産処分損	210	167
特別損失合計	210	167
税金等調整前四半期純利益	14,305	4,981
法人税等	4,641	△1,351
過年度法人税等	—	3,245
四半期純利益	9,664	3,088
非支配株主に帰属する四半期純利益	824	2,136
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,839	951

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	9,664	3,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△239	△158
為替換算調整勘定	△961	△5,097
退職給付に係る調整額	511	618
持分法適用会社に対する持分相当額	△327	△140
その他の包括利益合計	△1,016	△4,777
四半期包括利益	8,647	△1,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,388	△3,465
非支配株主に係る四半期包括利益	1,258	1,777

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において持分法適用関連会社であったユーエムコーポレーションの株式を追加取得し、第2四半期連結会計期間においてユニプレス武漢会社を新たに設立したことにより、それぞれ連結の範囲に含めております。

また、株式会社メタルテックの株式を取得したことにより、当第3四半期連結会計期間から持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,986,900株(取得価額4,999百万円)を取得いたしました。この取得等により、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は5,023百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準 ASU 第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、米国会計基準 ASU 第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。当該会計基準の適用が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

この結果、従来の会計基準を適用した場合と比較して、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、「受取手形及び売掛金」が483百万円増加し、「流動負債」の「その他」に含まれております「返金負債」が483百万円増加しております。

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。IFRS第16号の適用につきましては経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が919百万円増加し、流動負債の「その他」が264百万円及び固定負債の「その他」が716百万円増加しております。

当該会計基準の適用が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、利益剰余金の当期首残高は64百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,131	73,023	27,903	67,866	242,925	—	242,925
セグメント間の内部売上 高又は振替高	19,778	79	21	2,139	22,019	△22,019	—
計	93,910	73,103	27,924	70,005	264,944	△22,019	242,925
セグメント利益又は損失 (△)	6,295	1,676	520	5,957	14,449	△556	13,892

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	66,433	67,340	24,685	61,828	220,289	—	220,289
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15,936	237	29	1,439	17,644	△17,644	—
計	82,370	67,578	24,715	63,268	237,933	△17,644	220,289
セグメント利益又は損失 (△)	△1,286	784	△836	5,479	4,140	△417	3,722

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいて、持分法適用関連会社であったユーエムコーポレーションの株式を追加取得して連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,367百万円であります。

なお、のれんの増加額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額であります。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご参照下さい。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2019年6月15日に行われたユーエムコーポレーションとの企業結合について、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を見直した結果、無形資産が増加したこと等により暫定的に算定されたのれんの金額1,773百万円は、268百万円減少し、1,505百万円となりました。